

応援団が始動!



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号



2月18日昼休み、特別講義室で先日女子生徒を対象に募集が行われた応援部の説明会と各部活の部長会議が行われた。

両会議では、野球部の応援に関する説明が生徒課の伊藤公英先生から行われた。最初に行われた女子応援部員の会議では伊藤先生と清水美春先生から生徒たちに、応援はチャリ



清水先生から説明を受ける女子生徒達

録したDVDの上映もあった。伊藤先生は「最優秀賞は1校、その次の優秀賞は5校。東高生が力を合わせればきっと取れる」と話された。放課後の体育教官室前には参加の意思を持った17人の生徒たちが集まった。女子応援部員の指導を担当される予定の清水美春先生にお話を伺うと、「非常に意欲のある生徒が集まってくれた。応援の内容はブラスバンド部が演奏する曲目にあわせてこれから決めていく。今のところ集まってく

れたのは17人だが、今後増えていくかもしれない。全校生徒が一丸となって野球部の追い風になるように頑張っていくのが一番の目標。シンプルでもみんなで応援をやっていることをアピールしていきたい」と答えてくださった。また、応援部に参加を決めた2人の女生徒に話を聞くと、「厳しくなりそうだが、やりがいがあることだと思おうので精一杯頑張りたい」、「チャリディングはずっとやりたいたいと思っていたので頑張ります」と笑顔で答えてくれた。

部活の枠を超えた 応援体制

引き続いて行われた部長会議



部長会議で挨拶をする新谷君と京極君

議では、まず最初に野球部キャプテンの新谷直弘君(26)と主務の京極秀平君(27)から、「これから他部の皆さんには色々迷惑をかけると思いますがご協力をお願いします」という挨拶があり、その後伊藤先生からこれからの応援についての説明が行われた。応援に関するビデオも製作することで、SS部とハンド部を中心に製作されることが決定した。

野球部にも出場お祝い

財団法人河本文教福祉振興会より野球部に甲子園出場お祝いが贈られ、野球部を代表して江竜康成先生が受け取られた。また、新聞部も実績や活動が評価され、同財団より奨学奨励賞をいただいた。同財団はアヤハグループの社会貢献活動の一つとして、県内の青少年の健全な育成をめざし、スポーツ・文化活動に優れた成績をおさめた高校生の表彰など様々な事業を行っておられる。

お祝いを受け取る江竜先生

